

【Hot-Version】 AE86富士N2決戦 2024

■SUPER N2 CLASS [テクニカル・レギュレーション]

エンジン系統

- エンジンはA型(4A/7A)のシリンダーブロックを使用すること。ヘッド、スロットルボディの変更可。
- 排気量の変更可。但し85.5mm以上のストローク変更は不可。
※ストローク測定はレース後、他のエントラントより測定の申し出があった場合のみおこなう。
- 4AGのノーマルストローク(77mm)であれば、ボア変更を施してあっても4AGとする。
- 使<口>できるガソリンは、市販のガソリンのみとする。NOSおよびレースガスは禁<口>

吸気および排気

- 過給機は使用不可、NAに限る。
- マフラー音量は、各サーキットの規定に準ずる。
※サーキットによる計測で違反した車両は、違反箇所の改善後、嘆願書の提出をもって参加を許可する。
- ホーシングを使用すること。(サイズ規定は無し)
- シーケンシャル、ドグミッションの搭載を許可する。
但しラップタイムに大きく影響されるとみなされた場合はウエイトハンデを課する。

ホイールおよびタイヤ

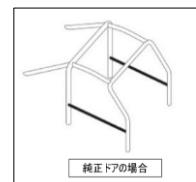
- タイヤは、各大会毎に審議し決定する。
- ※本年度はダンロップスリックタイヤ(250/585R15)とする。
- 予選と決勝は、同じタイヤを使用すること。(但し走行に支障があるとみなされた場合は可)
- ウエットタイヤの規定は設けないものとする。但し、主催者からウエット宣言が出た場合のみ変更可。

シャーシ・車体外部および空力装置系統

- パイプフレーム化は禁止。(Tカーなどやむを得ず使用する場合は審議して決定する)
- 左右ドアの材質は変更可だが、純正と同形状であり開閉が正常に行えること、かつ、走行風などにより著しい変形等が生じない様、十分な強度があること。
尚、運転席側のドアトリムは原則純正を装着すること。
- 車両の全長は、アンダーパネル、リアデフューザーを含め4,500mmまでとする。
- 車両の幅はオーバーフェンダー、アンダーパネル、カナードを含め1,800mmまでとする。
フロントカナードの装着は幅1,800mm以内までは許可されるが、フェンダーと滑らかに接続すること。
- GTウイングの車体からの突出量は、リアバンパーより後方30mm以内、幅はボディー幅より片側15mm以内とする。
翼端板は縦300mm横450mm、ウイングの高さは全高(ルーフ)より低い位置までに制限される。

窓ガラスおよび車体内部

- フロントガラスは、安全ガラス(合わせガラス)の装着を義務とする。
- 左右ドアガラスは、無色透明であれば材質変更は可。但し、脱落防止のため走行時は全閉か、全開状態のみ。
※全閉以外で走行する場合、運転席にはウインドウネットを装着すること。
- リアガラス(3面)の材質変更は可。ただし、透明でない場合は、カメラ、モニターの設置が必要。
- ロールケージは、6点式以上に加え必ずサイドバーを取り付けること。
- ダッシュボードがある車両のロールケージは、逃げ加工ではなく貫通加工とする。
- ロールバー、サイドバーは40Φ以上とする。(JAF規定)
- 取り付け方法は、溶接すること。
- サイドバーの取り付け位置は、ドライバーの保護を目的とし
運転席開口部の2分の1より下、5分の1より上に設置すること。
- サイドバーの取付方法は、純正ドアの場合は1本
材質変更ドアの場合は2本とする。(JAF規定)
- サイドバーには、ロールバーパッドを巻くこと。
- ロールケージの素材は鉄またはクロモリとする。



電装品および安全燃料タンク

- 安全燃料タンクを装着する場合は、車室と確実に隔離しなければならない。
- 室内にバッテリーを装着する場合は、バッテリーケース・バッテリーカバーで確実に隔離すること。

灯火類

- 灯火類は正常に作動すること。(前部ヘッドライト、後部尾灯、後部制動灯、前後方向指示灯)
- 後部灯火装着の形状、取付位置の変更は不可。※レンズユニットの社外品の使用は可。
- トレノのヘッドライトユニットの開閉機構の取り外しは可。
※ライトの搭載位置は純正位置にほど近く設置すること。
- レビンのヘッドライトユニットの変更は可。取付位置の変更は不可。灯火装置以外の機能をつけてはならない。
※ヘッドライトレンズ(リフレクターパーツ)の材質変更は可。ただしレンズ面はクリアであること。
- ※レビングリルの材質の変更は可だが純正形状が望ましい。

最低重量

- 最低車両重量は、4AGは780kg 5~7AGは820kgと定める。
- シーケンシャルミッション・ドグミッション搭載車の最低車両重量はラップタイムによって変更される場合がある。
- 重量測定は、予選前に全車測定。
※決勝後、他のエントラントより通告の講義の申し出があった車両は再測定をする。

■N2 CLASS [テクニカル・レギュレーション]

下記項目以外は、SUPER N2のメカニカルレギュレーションに準ずる

- ・リアガラス(3面)の材質変更は可。ただし、透明で有ること。
- ・トランスマッキンの変更は自由だが、シーケンシャル/ドグミッキンの搭載は禁止とする。
- ・左右のフロントドアは、純正を使用すること。尚、サイドバーは1本装着すること。
- 尚、運転席側のドア内張りは純正もしくは同等に安全性が確保されている物を使用すること。
- ・ロールバーおよびサイドバーの取り付け方法は、ボルト留め可だが溶接が望ましい。

■CLASS TC [テクニカル・レギュレーション]

エンジン系統

- ・4AGブロックを使用すること。
- ・ラジエター取り付け位置の変更不可。
- ・スロットルはキャブ仕様でもインジェクション仕様でどちらでも可。

ホイールおよびタイヤ

- ・タイヤは、幅は205サイズまでのSタイヤ、またはラジアルタイヤとする。

シャーシ・車体外部および空力装置系統

- ・AE86・AE85の車両を使用すること。
- ・左右ドアはノーマルであること。
- ・ライト類はバルブを除きノーマルであること。
- ・ウイング・カナード・ディフューザー等の使用は禁止とする。但しスポイラー類は可。
- ・アンダーパネルはフロントバンパーまでの長さまでとする。
- ・オーバーフェンダーの取り付けは可、但しタイヤ幅は規定値であること。

窓ガラスおよび車体内部

- ・ロールケージは6点式以上で素材は鉄またはクロモリとする。

動力伝達装置系統

- ・MTはHパターンでシンクロ機構がついているもの。
- ・デフはAE86用を使用すること。
- ・LSD およびファイナルギア比の変更は可。

電装品および安全燃料タンク

- ・安全燃料タンクを使用する場合はJAF規定を満たす製品を使用すること。

最低重量

- ・4AGは830Kg以上、ストローク変更車両は860Kg以上とする。

■その他安全面(全クラス共通)

- ・シート、シートレール、シートベルトはFIAおよびJAFの規定を満たす製品を使用すること。
- ・ドライバーは、レーシングスーツ、ヘルメット、ハーネス、グローブ、シューズ、フェイスマスクの装着を厳守。
- ・レーシングギア一式はFIA規定が望ましい。
- ・車両に2kg前後の消火器を搭載すること。
- ・各自ピットに2kg以上の容量のある消火器を備えることを推奨とする。

■スポーティング・レギュレーション

- ・本大会に際しまして、イベントコンテンツの一つではありますが、レース形式になりますのでFISCOライセンス保持を推奨します。
- ・FISCOライセンス保持者ではない場合、JAFライセンス国内A以上の保持者であることを推奨します。
- ・過去に富士N2決戦に参戦した経験のある選手、およびチーム。またはそのチームが推奨するドライバーに限らせて頂きます。
- ・本大会に際しまして、エントリー台数は20台程を上限とし、周回数を8周といたします。
- ・スポーティングレギュレーションは、各クラス共通とする。
- ・スタート方式はローリングスタートとする。(ホットバージョンルール)
- ・クラス違いの車両、特にクラスTCのリーダーは、S-N2およびN2クラスの最後尾との距離を十分に保つこと。
- ・出走台数台は、各コースにて設定する。また、決勝レースの周回数は主催者より発表。
- ・フォーメーションラップは1周とみなす。
- ・上記レギュレーションは、参加者の安全を第一に考えており、問題が生じた場合は主催者の権限により直ちに変更される場合がある。

Hot Version